

Instruments A Comin'!

♥ ニューオーリンズの子供たちに楽器を ♥

ハリケーン”カトリーナ、リタ”の被害から、ニューオーリンズはまだ復興できていません。

そして、音楽の都ニューオーリンズに戻ってきた子供たちには楽器がありません。

名門ライブハウス「ティピティーナ」のファウンデーションでは、
子供たちの戻ってきた学校に、楽器を贈る活動をしています。

アメリカ南部をハリケーン「カトリーナ」「リタ」が襲ってはや1年半が過ぎようとしています。NEW ORLEANS市の東部にある、ロウアー・ナインス・ワード地区。ここはアメリカ音楽の源泉のような場所です。

ここは堤防の決壊場所に近かったために、浸水というよりも津波に襲われたような状態になりました。まだ飲料水などインフラすらまだ復旧しておらず、ほとんどの人が帰れていません。この地域に限らずまだ多くの市民が避難したまま元の家に帰れない状態です。

アメリカ音楽のルーツでもあるといえる街、NEW ORLEANS。南部では比較的大きい街ですが、それでもその人口は和歌山市と周辺町村を足したぐらいの大きさしかありません。そのNEW ORLEANSの音楽が何故あのようにパワフルでエネルギーがあるのか。また、若い世代がそれを受け継ぎ発展させてきた歴史や多くのミュージシャンを育てる分厚い土壌。そのバックボーンには、その大きな部分を人口の70%を

占めると言われる黒人貧困層とその子供たちが支えてきた事実があります。そしてその多くが自分たちの家に戻れていません。こ

れはNEW ORLEANS音楽とその将来にとって悲しむべきことです。音楽を支える土台を失っていく事につながってきます。せめて、帰ってきた子供たちには楽器を手にしてもらいたい。大きくなつてピストルやナイフを持たなくていいように。

「ティピティーナ」のファウンデーションでは、子供たちが帰って来た学校に楽器を用意する活動をしています。そして無料の音楽教室を開催し、子供たちや学生に現地のプロミュージシャンが指導しています。

Tipitina's は、NEW ORLEANSアップタウンにある名門ライブハウスです。プロフェッサーロングヘアゆかりの店でもあり、同名の曲「Tipitina's」は多くのミュージシャンが取り上げ、スタンダードナンバーとなっています。この店ではfoundation を立ち上げ、長年にわたって市内の小中学校への楽器提供を続けてきました。

また、「instruments a comin' !」というベネフィットコンサートは過去4年にわたって行われており、在NEW ORLEANSのミュージシャンが手弁当で参加。コンサート収益と、お客様からの募金で楽器提供を行っています。

こうした地道な活動や市民の意識が、素晴らしいプラスバンド、他の音楽が育つ土壌を支えてきたといえます。



ぜひこのホームページを訪れてみてください。

募金もここからできます。(クレジットカードが必要です) <http://www.tipitinafoundation.org/>

Tipitina's Foundation ▶ PROGRAMS ▶ Instruments A Comin'